

謹賀新年

皆様におかれましては、新春の清々しいひとときを迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界的にも注目された「大阪・関西万博2025」の開催など、経済活動や人流はコロナ禍以前の活気を取り戻しつつあるものの、依然として続くエネルギー価格や物価の高騰など、私たちの日常生活に大きな影響を与えており、また、本町においても「人口減少」という大きな課題が、地域経済など様々な分野にも波及しています。

しかし、このような状況であっても、私が掲げる「住民満足度が高い町」を実現するためには、歩みを止めてはならないと意を強くしているところであります。

本年は、目指すべき町づくりの方向性を定める、「次期（第8次）総合計画」の策定年にあたります。この計画は、今後10年間、総合的かつ計画的な行政運営を行うための指針となるもので、「人口減少が進行する中での持続可能な行政運営・町づくり」が大きなテーマになるものと考えています。

そして、その実現のためには行政の力だけではなく、本町が培ってきた「住民自治力」や魅力ある「地域資源」を礎に、町民の皆様と一体となり考え、つくり上げ、実行していくことが必要不可欠です。ともに「住み続けたい町」「訪れたくなる町」を築き上げてまいりましょう。

最後に、皆様にとって本年が幸多き一年となるよう、心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



一人ひとりの人生に

寄り添えるまちへ

智頭町長

金 兒 英 夫

智頭病院だより

智頭病院 院長 森下 嗣威



明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

智頭町はすでに超高齢化社会になっております。お一人暮らしやご高齢の夫婦でお暮らしの方も多くおられます。自動車免許を返納され自由に外出できない方、さらには足腰の衰えにより自宅周囲しか移動できない方など、年齢を重ねるにつれて日常生活に支障をきたす場面が多くなつてまいりました。

この様な状況の中で、医療、福祉、介護の果たす役割はこの社会を支える上でますますその重要性が増しております。智頭病院をはじめ「智頭町保健医療福祉総合センターほのぼの」の職員一同は、その様な認識の元に、地域のお役に立てるよう日々尽力しております。

昨年4月に智頭病院の病院長に就任し、いろいろな改革に取り組んでまいりました。町民の皆様に一層信頼され、頼って頂ける病院になるように、職員一同一つ一つ院内外の問題点を洗い出し、改善に努めております。まだまだ至らぬ点もあるかとは思いますが、本年も引き続きより良い病院を目指してまいりますので、町民の皆様からの貴重なご意見をいただけますと幸いです。

本年が皆様にとりまして、健やかで幸多き一年となりますように心からお祈り申し上げます。



今年も智頭病院をよろしくお願いいたします。

鳥取県すこやかシニア

よい歯のコンクール

東部地区審査会

令和7年10月2日に鳥取県東部歯科医師会館にて「令和7年度鳥取県すこやかシニアよい歯のコンクール東部地区審査会」が開催されました。審査会では、智頭町在住の田中めぐみさんと大坪正人さんが表彰されました。



大坪 正人さん



田中 めぐみさん